

指定管理者モニタリング結果報告書（令和7年度分）

- ・施設名：手島自然教育センター
- ・施設所管部課：協働推進部地域づくり課広島市民センター
- ・指定管理者：一般社団法人 島に灯

区 分		内 容
実施時期		定期モニタリング：令和8年3月17日（火）午前11時 随時モニタリング：必要に応じて実施
実施方法		定期モニタリング：事業報告書等を受け取り、聞き取り調査を実施 随時モニタリング：毎月の業務報告書を基に、聞き取り調査を実施
実施結果	① 施設の状況	耐震他改修工事等を終え令和6年6月再開。施設本体以外には改修等要望もあるが、予算の範囲内で利用状況に合わせた管理運営を行っている。
	② 施設の利用状況	令和7年度利用者数 554 人 利用料収入 623,450 円 (令和6年度利用者数 348 人 利用料収入 636,600 円) (参考：コロナ禍前令和元年度 利用者数 1,035 人 利用料収入 765,200 円) 施設利用者数及び利用料収入は、耐震改修工事による休館前に比べ増加。
	③施設利用者の意向把握と対応	利用者を対象に随時、施設側で作成したアンケートを実施し、利用者ニーズの把握と及び施設の運営管理における改善点の把握に努めた。
	④ 管理体制	所長1名、常駐の管理人1名を基本とし、繁忙期は臨時の島内のヘルプ雇用によって運営管理している。
	⑤ 管理経費	事業計画書の範囲内の経費でなんとか管理されている。専門的な業務は業者委託し、清掃等の業務は職員が実施し経費削減が図れているが、工夫によって経費削減に繋げる取り組みも必要である。利用者数増により利用料収入増を図るとともに、安定した施設維持管理費等の継続的な確保に努めることが課題となっている。
	⑥ 緊急時の対応について	基本的に管理人が緊急時対応を行うが、大規模災害時は地元関係者（自治会、消防団）へ協力を要請し、迅速な対応ができる体制としている。
	⑦ その他 (指定管理者の業務遂行能力等)	指定管理者の財務状況において維持管理費が大半を占め、指定管理業務の実施には支障はないが、施設の運営や改善に苦慮しているところ多い。所長、常勤の管理人、臨時のお手伝い従事者を中心とした運営体制の強化により持続可能な運営体制を目指す。
	⑧ 改善指示事項	・施設内の清掃や剪定業務は定期的実施し、施設の設備を利用者が気持ち良く利用できるよう継続して努めること。 ・利用者ニーズや改善点をより具体的に把握できるアンケートを継続実施し、ニーズに応じた改善については創意工夫して努めること。 ・利用者に分かりやすい施設表示（非常口、施設に関する情報等）に努めること。
実施結果に対する所管課の意見		概ね良好に運営されている。施設を適切に管理運営するとともに、創意工夫による施設の有効活用と自主事業実施を求める。また、施設だけにとどまらず島の魅力発信を通じて、施設利用者を増やすことを積極的に進め、持続可能な島の活性化につながる運営に努められたい。
今後の施設管理に反映(改善)する事項		・指定管理者との情報共有を綿密に行い協議しながら、創意工夫により利用者ニーズを反映した利用しやすい施設運営に努める。 ・施設の利便性を高める改善策について、市と協議して進める。 ・施設利用料の見直し等を見据えた利用者ニーズの把握を継続する。 ・宿泊施設としての安全確保のため、施設修繕、備品整備等を必要に応じて、市と協議して進める。